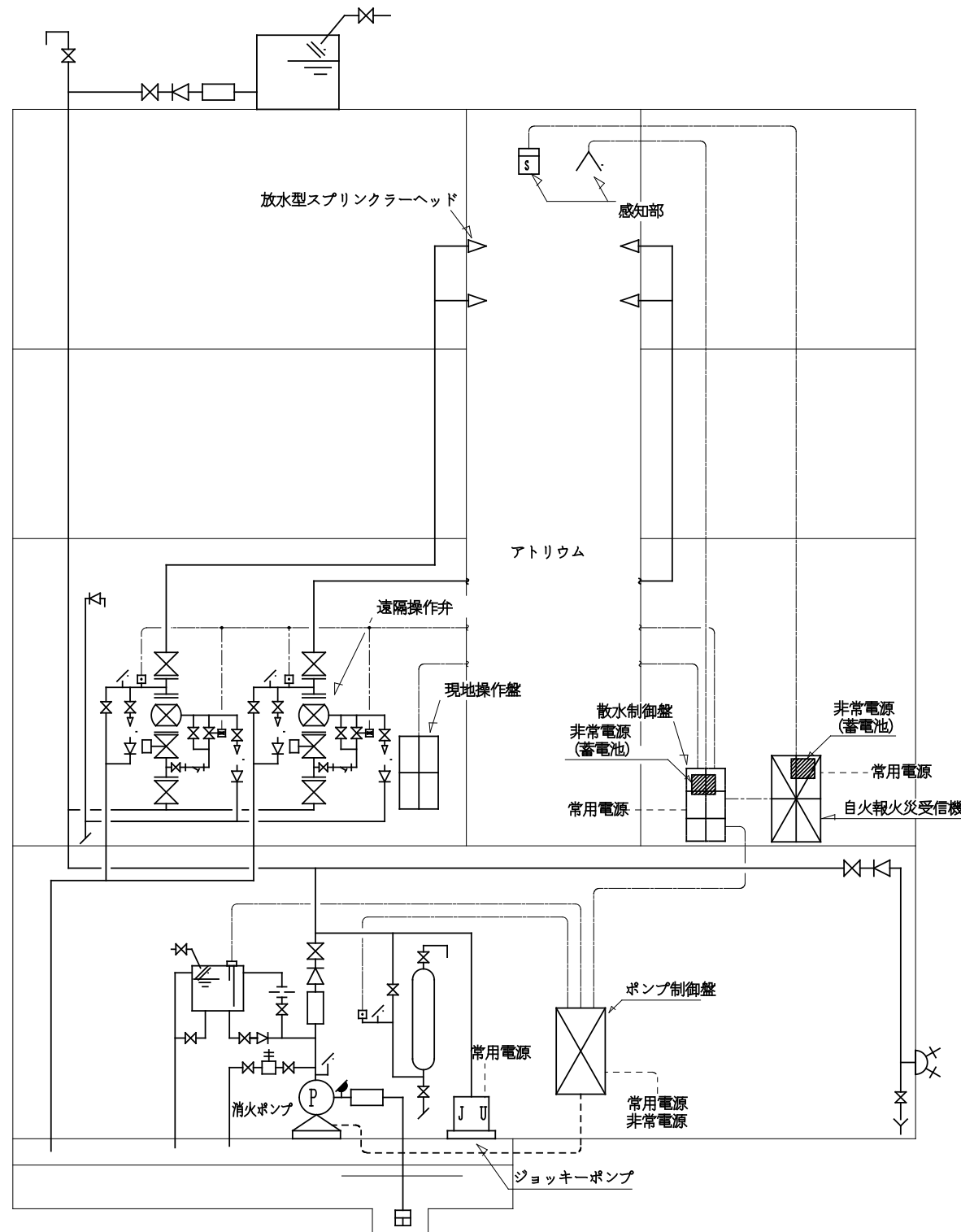


2-2-5 放水型ヘッド等スプリンクラー設備

2-2-5-1 NH100システム (固定式)



NH100システムの系統例

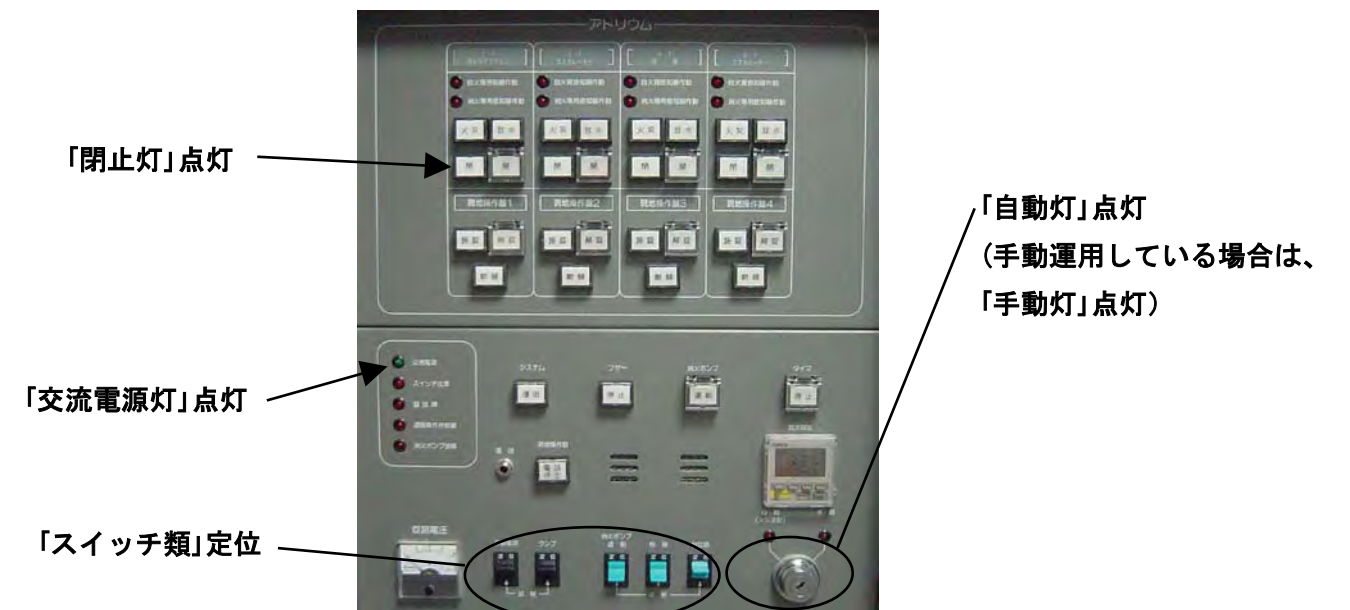
停電時

発生する事象	停電後	<ul style="list-style-type: none"> 消火ポンプの電源が遮断され、自動的に非常電源からの電源供給に切り替わります。運転中に停電し一旦電源供給が遮断されても、非常電源に切り替わると自動的に消火ポンプが起動・継続運転します。 消火ポンプの非常電源が、非常電源専用受電設備の場合は、停電直後から消火ポンプの起動ができなくなります。 消火ポンプの電源が非常電源に切り替わる際に、消火ポンプの電源断の表示および警報が発せられる場合があります。 非常電源が接続されていないジョッキープンプ (補助加圧ポンプ) は作動できなくなるため、配管内減圧により消火ポンプが起動する場合があります。◆ 散水制御盤内蔵の予備電源に自動的に切り替わり、交流電源灯が消灯します。*1 非常電源に切り替ると火災受信機に盤故障信号を移報します。
	非常電源供給終了後	<ul style="list-style-type: none"> 消火ポンプの電源が完全に遮断されると消火ポンプが起動できなくなり、また消火ポンプの電源断の表示および警報が、火災受信機などに発せられる場合があります。 火災受信機の電源供給が完全に遮断されると、自火報設備からの火災信号が移報されなくなり、自動放水ができなくなります。また放水による警報、表示ができなくなります。 散水制御盤、現地操作盤からの操作が不能となり、設備が機能を停止します。
必要な対応	<ul style="list-style-type: none"> 非常電源供給終了後は、NH100システムが機能しないため、人により火災を警戒する等の対応をしてください。 火災時は散水制御盤の電源が遮断されていても消火ポンプが運転できれば遠隔操作弁の手動起動弁を操作することで、放水ができます。 	

*1: 散水制御盤の一次側電源が非常電源回路の場合は、自動的に非常電源からの電源供給に切り替わる場合があります。

復電時

発生する事象	<ul style="list-style-type: none"> 電源復電時に散水制御盤のブザーが鳴動します。その後、正常監視状態に復旧すれば散水制御盤のブザーの鳴動は自動的に停止します。 消火ポンプ、ジョッキープンプなどの電源供給が自動的に再開されます。 長時間におよぶ停電で配管内圧力が下がっている場合、復電により消火ポンプが起動する場合があります。また、減圧開放式の一齐開放弁の場合はポンプ起動の際に瞬間的に一齐開放弁が開放し、ヘッドから水が放水されるおそれがあります。◆
必要な対応	<ul style="list-style-type: none"> 復電時には、自動的に散水制御盤、現地操作盤に電源が入りますので、対応が必要なことはありません。 火災以外で消火ポンプが起動した場合は、ポンプ制御盤のポンプ停止押引スイッチでポンプを停止してください。 散水制御盤などの盤面表示が正常状態であることを確認してください (写真参照)。 自家発電設備を運転した場合の対応は、同設備の取扱説明書によってください。



散水制御盤の例 (平常時)

注意事項

- 頻繁に停電が生じる場合には、散水制御盤の非常電源 (蓄電池) の充電が十分に行われず、設備の監視、作動時間が短くなる場合があります。
- 電源装置等の状態によっては、復電時に機器に故障または障害が発生する場合があります。
- 通常の監視状態において、頻繁に配管内の圧力が減少する (計画停電の時間より短い間隔で、ジョッキープンプが起動する) などの現象がある場合、◆の事象の発生する確率が高くなります。配管、バルブ等からの微少な漏れが考えられますので、修繕をおすすめします。

※非常電源の種類を確認してください。非常電源の容量は、30分間設備を使用できる容量となります。詳細については、対象となる実設備の取扱説明書などをご確認ください。